

航 跡

こう せき



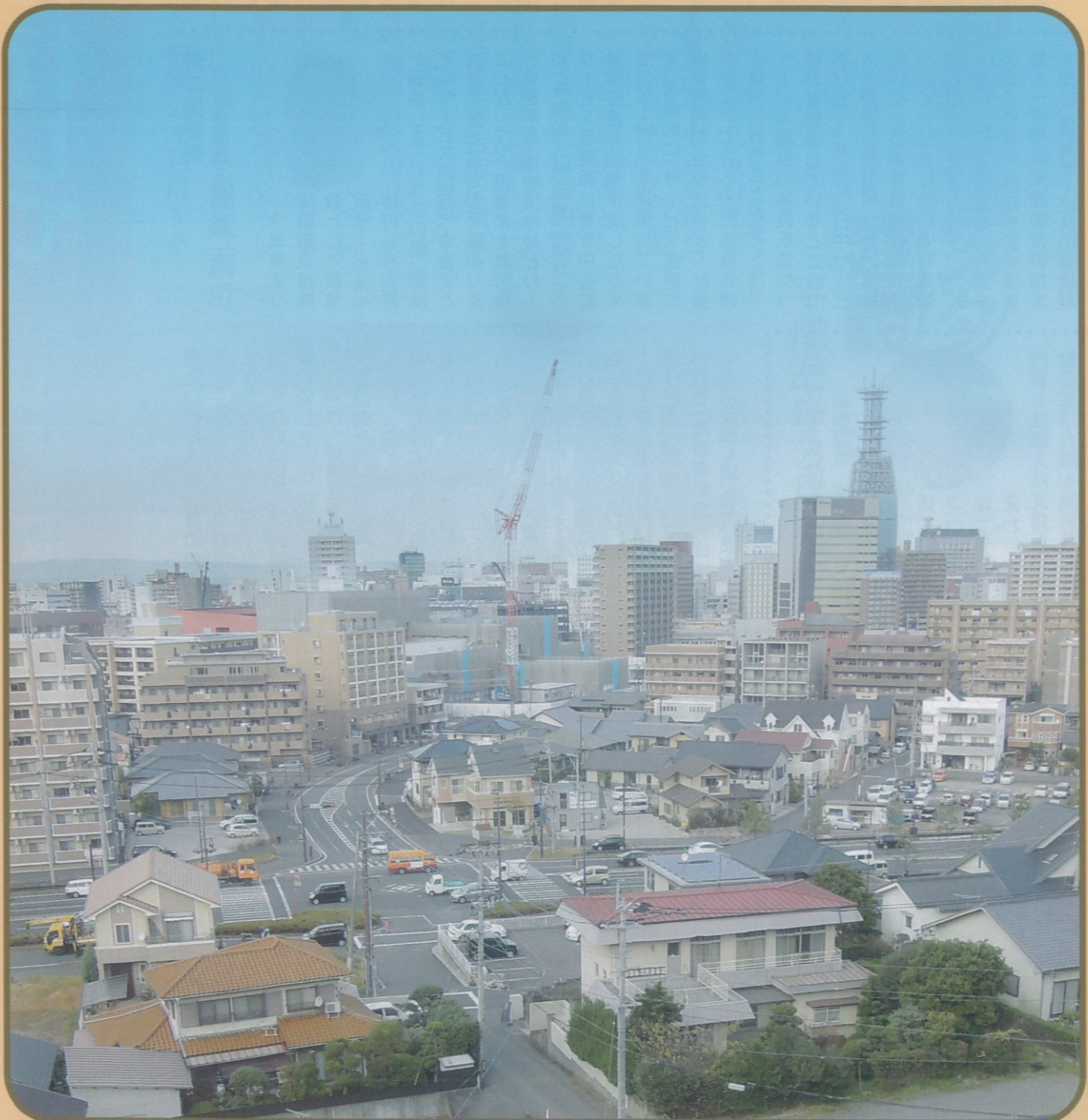
No.30

発行／大分県大分市大字野田759番地1

社会福祉法人 博愛会

TEL(097)586-6121 FAX(097)586-6115

<http://hakuai-oita.com>



変わりゆく大分駅南地区

新体系に移行して

各施設の課題と展望

第一博愛寮

支援部長

林 茂喜



当事業所では、新体系移行により80人全員が施設入所支援(夜間)と生活介護(日中)のサービスを併用することになりましたが、移行前後の慌ただしさや混乱とは無縁に、利用者は何事もなかったかのようにこれまでと同じ環境で変わりなく暮らしがとられます。

博愛会のなかで最も歴史の古い当事業所は、ご存知のとおり利用者の重度・高齢化が著しくすすんでいます。利用者の平均年齢は56歳ですが、60歳以上は半数の40人、常時車椅子が歩行者使用者は20人を超え、車椅子がずらりと並ぶ様子は、さすがに介護老人施設と見間違えうほどで、基本サービスである食事や入浴、排泄にかかる介護や、医療的ケアの度合いは非常に大きく、常に高いリスクと隣り合わせの支援が要求されています。

第二博愛寮

支援部長

廣瀬 竜也



今年度より障害者支援施設として新体系サービスへ移行し8カ月が経過しました。この間、実施するサービス内容は、今まで大きく変わるものではありませんが、生活介護事業と就労移行支援事業(博愛大学校と連携して)を併せて、サービスマネジメントを併せて、個別支援計画を作成したうえで、サービスを提供しています。全体的に、サービス提供に係る時間が、アシメント、計画作成、モニタリングの事務処理に費やされることが多くなり、サービス提供の本質を見失う傾向を懸念しているところでもあります。さらに、日中サービスの提供日数制限、加算の実績払いによる事務処理等の表に出にくい部分においても煩雑化が顕著となっています。

また、相談支援事業の充実を図ることから、特定相談支援事業と一般相談支援事業の指定を受け、福祉サービスの継続利用及び地域定着支援の実施については、サービス等利用計画を作成してきました。この地域定着支援については、地域生活者の嬉しそくに次第に自信をつけて行く様子に安堵したり、夜間の突発的な事故への対応もあり、支援に係る幅の広さと無制限の対応依頼に翻弄される日々ですが、担当者を中心に24時間の連絡体制をもって対応しています。

平成18年以降、つなぎ法の中で振り回され、翻弄され続けている現場を、支援にじっくりと取り組めるよう、また、福祉サービスを利用する方が将来に亘り安心してサービスを受けられるよう強く望んでいます。

事業となりどうなることかと案じながらも前向きに捉え事業展開してきました。利点として、日中の生活介護支援を行うようになったことで、健康面、身体面の援助ができるようになったこと、創作活動を外部講師により定期的に行うことで、余暇の楽しみだけでなく発表する喜びとして自信の持てる日中の場として定着してきました。

ず枯れてしまうのではと不安な状態が数ヶ月続きました。夏が過ぎて、新制度にもある程度対応できるようになった頃、くすの木の新芽がポツポツと芽生え、冬の時期にはありとあらゆる幹から緑の葉が出て、枯れる心配はどこへやらすっかり元気な緑でおおわれるまでになりました。



副施設長

浅倉 文親



今年度より障害者支援施設「福祉農場」に「ココロ久住」と名称が変わり、事業内容も施設入所支援と日中生活の生活介護と就労移行支援

あたかも、新緑の春より思考錯誤しながら始めてまもなく、事業の運営を代弁するかのようになり、「ココロ久住」の癒しの場でもあるシンボルの木に異変が起きました。新芽が出

障がい者の総合サポートセンター

博愛会地域総合支援センター

建設工事着工

平成25年3月完成予定

大分市の補助事業として、博愛会の新たな事業所となる「博愛会地域総合支援センター」の起工式が去る8月31日に行われ、建設工事が始まりました。

これまで博愛会の独自事業として、平成18年に博愛通動寮内に博愛地域総合支援センターを立ち上げ、在宅やグループホーム、福祉ホーム等で生活する方たちの総合支援を行ってきました。しかし、一生涯懸命働いている障がい者の方の余暇の充実、一般就労で企業に就職したものの人間関係等により、離職し戻ってくる人たちの新たな就労や生活の場の確保が課題となってきました。

支援センターと現在オアシスひろば3階にある障害者就業・生活支援センター「大分プラザ」を収合し、1階には焼肉レストランを就労の場として設けることや3・4階には宿泊型自立訓練、短期入所等を設置し、一つの建物で様々な支援を総合的に構築できることとなります。

この「博愛会地域総合支援センター」は、障がい者一人ひとりの人生に寄り添い、一人ひとりにスポットが当たるような支援を心がけ、「自分らしくいきいきとした生活を送る」をコンセプトにした博愛会を利用する方々の総合サポートセンターとして、法人内の事業所、在宅、地域支援事業を結ぶ中枢拠点にしたいと考えています。



起工式の様子

博愛会地域総合支援センター 概要

開設予定／平成25年4月1日

建設地／大分市金池南1丁目

(大分市ホルトホール建設地南側に隣接)

建物の構造／鉄筋コンクリート建4階建
(延床面積 1327.36㎡)

事業形態

- ① 就労継続支援事業多機能型
 - ・ 就労継続支援A型 定員10名
 - ・ 就労継続支援B型 定員17名
- ② 就労移行支援事業 定員15名
- ③ 宿泊型自立訓練事業 定員15名
- ④ 短期入所(シヨートステイ)事業 定員3名
- ⑤ 相談支援事業
- ⑥ 障害者就業・生活支援センター
「大分プラザ」
- ⑦ 共同生活援助事業等緊急支援事業 (24時間体制)
- ⑧ 博愛旅行センター
- ⑨ NPO法人あいネットワーク大分

早いもので、もう今年も終わろうとしています。そして当然のように各事業所でいろいろなことがありました。支えているようで、支えられている私達職員……現場で日々ともに生きる職員からのメッセージです。

支え、支えられて③



第一博愛寮 志水 英利

「やあー、メイン」。元気な声が小学校の体育館に響き渡ります。縁があつて剣道を通して学んできた剣道。色々な経験を、沢山のことを学んできました。「礼節や思いやり、剣道を通して学んできた大切な事を伝えたい。利用者の余暇活動として始めた「ローリー久住剣道部」小学生との合同稽古会も7年目を迎えました。コソコソと続けることの難しさを感じながら、挫折する時、みんなの笑顔とやる気に励まされ、今まで続ける事が出来ました。自分は指導者……でも実際はこちらが学び、助けられている事の方が多いのです。練習終了後、小学生と楽しそうに遊んで

いる姿、保護者の方々と話している時の笑顔……忘年会、鏡開き、慰労会、座禅会といろんな行事を一緒に過ごす時、「よかつた」と心から嬉しい気持ちになります。剣道という活動を通して、施設の外へ出て、地域の方々と交流を深める。余暇の時間を安心して過ごせる環境があるということ、きつとみんなの心に大切な何かが生まれると信じています。今、私が勤務している第一博愛寮でも重度、高齢化が進んでいます。利用者ひとりひとりが何を必要としているのか？「もし、自分だったら」という気持ちになってみんなの喜ぶ顔を元気の素に支援にあたつていきたいと思っています。共に一生懸命に取り組んでくれる仲間達に心から感謝します。



第二博愛寮 衛藤 久弥

「畑仕事とかした事あるんかえ？」勤務初日の午後、ハイエースに乗って利用者さん、先輩の支援員さんに連れられて畑に着いた時に、ある利用者さんにかけていただいた言葉が、今でも鮮明に思い出されます。「すみません、した事ありません。」「それじゃ、教えちゃらんといいけんあ（笑）。」「どうも、このマルチ張りという仕事で、鎌の使い方も知らず、悪戦苦闘し、大した仕事もできていないのに汗ばかり掻いている私に、その利用者さん、先輩の支援員さんは優しく丁寧に、「こつこつ教えて下さいました。

あれから20年近くがたちました。この間、世の中も変わり、福祉を取り巻く状況、そして博愛会の事業、利用者さんの生活も少しずつ変わってきました。そんな中でも変わらないものがあります。「忙しそうやけど、風邪ひかんようにない。」「奥さんと子供さんたちは元気かえ。」「私へかけて下さる優しい心遣いの言葉です。この優しい方たちに、私は入社当時と同じ気持ちで応えてあげることができていた。ところが、業務をこなすだけの毎日になつていなくなる。この原稿の依頼を受け、あらためて初心に立ち返る事の大切さを感じる事ができました。日々の業務は少しずつ変わつていきますが、これからも利用者さんの幸せな生活を追求し、少しでもお役に立てるよう努めてまいります。



キッチン花亭 伊斐 香代子

「先月は有休を一日とつたけど、細書に書いていません。」「今月の食事代はちょっと多くないですか？」と事務室で従業員（利用者）さんから尋ねられました。当時、第一博愛寮からキッチン花亭に転職になった事務員の私にとって、思いもよらない言葉に戸惑いました。自分の給料の明細にきちんと目を通し、その正確性に疑問を投げかけてきたのです。その場で、詳しく説明して差し上げた分かつてももらえましたが、自分が納得のいく説明を求めてくることは、考えてみれば、それだけ自分の仕事にきちんと向き合いたいといえます。それぞれの持ち場で、自分の職責を果たし、その成果を確認していくこととする気持ちをしっかりと受け止めなければと再認識しました。事務職として給料計算を間違いないことは当然のことですが、一生懸命仕事に専念している従業員さん一人一人を、まずはよく知り、信頼関係を築いていくことが大切だと思っていました。その第一歩は、やはり、挨拶からだと思いい、笑顔で挨拶に努めることから始めています。忙しく大変な時こそ、一服の清涼剤や潤いとあれば、笑顔が絶やさないと思えます。従業員さんの表情が実に明るく仕事に努めています。私も負けないようさらに笑顔で挨拶をするように、皆さんが一層気持ちよく働けるよう職場の一員として事務職の自分のできることを考えていきたいと思えます。



第一博愛寮相談支援事業所 相談支援専門員 樋本 康広

今年度より相談支援事業が本格的に開始され、障がいのある方やその家族の方々の生活や支援に関する相談に応じると共に関係機関と連携を図り、障がいのある方が安心して生活できる施設地域の支援体制をつくる目的を持って活動しています。日常生活上の支援を必要とする障がいのある方やその御家族に対し、窓口による相談や家庭訪問を行いながら障がいのある方のニーズに添った支援を提供していきます。ご本人やご家族の今までの言い出せなかつた思い等を直接聞き、支援に反映させていく事は相談支援ならではの良さであると感じます。今後も一人ひとりと心のキャッチボールをしながら、障がいのある方々の笑顔を引き出せる様な相談支援専門員でありたいです。

暮らしを支える

住吉浜リゾートパーク グラウンドゴルフ場オープン

去る11月2日、杵築市住吉浜リゾートパークに、大分県、杵築市、大分県グラウンドゴルフ協会、杵築市グラウンドゴルフ協会をはじめ関係機関各位のご支援とご協力を頂き、この度、グラウンドゴルフ場6コース（48ホール）公益社団法人 日本グラウンドゴルフ協会認定コース申請中）とクラブハウス、室内コース、屋根付コース各1コースが

完成しました。この日を記念し、第1回住吉浜カップ グラウンドゴルフ大会を開催し、小風大分県副知事様、八坂杵築市長様他30名の来賓の方々を始めとして、県内の競技者306名が参加して行われました。競技後の感想は、「玉も良く転がる、いいコースができたなあ。」と好評でした。



太鼓・音楽活動

コロナ久住で春からスタートした創作活動の一つとして和太鼓教室があります。毎週金曜日の19時から21時までパルククラブのゲストハウス2で講師である池邊先生の指導を受けています。11月の収穫祭では多くの人の前で初めて披露することができました。今後の成長を見守って下さい。



ふるさと訪問

第一博愛寮の「ふるさと訪問」については前回ふれていますが、今回は日高早苗さんの訪問記をご紹介します。

日高早苗さんは、故郷である佐伯を2年ぶりに訪れました。久しぶりに会うお父さんは、早苗さんの帰りを心待ちにしていました。父と子、お互い照れくさそうでしたが、徐々に会話が弾みました。お母さんは、寒くなったからと



新しいコートを用意して待っていてくれました。ご近所さんが訪ねてきて、「さなちゃん」と昔の愛称で声を掛けて下さり、昔話に花が咲く楽しいひと時を過ごしました。

虐待防止法に学ぶ

— よりよい支援を目指して —

本年、障害者虐待防止法が施行されました。虐待といっても、暴行や拘束をする『身体的虐待』、わいせつ行為等の『性的虐待』、言葉遣い等に端を発する『心理的虐待』、長時間放置したり無視したりする『ネグレクト』、不当に財産を処分し利益を得る『経済的虐待』といったことについて規定しています。

これにともなつて、法の内容や具体的な取り組みについて施設側もどのような取り組みをすればよいのかが今後の緊急な課題となつていきます。

このことをふまえ、12月19日(二回目は26日予定)に法人内部研修会として、障害者虐待防止センターを設置し、対応にあつておられる大分市のご担当者を講師にお招きして学習の機会を持ちました。法律設定に至つた経緯から施設としてどう取り組むべきなのかまで細かく丁寧に話をしてくださり、支援にあたる我々の普段の気持ち、態度を反省させられ、マンネリ化していた支援の在り方等、今一度見直すよい研修となりました。



第12回 アビリンピック大分大会

平成24年11月3日(土)ホンダ太陽株式会社日出工場にてアビリンピック大分大会が開催されました。成績は以下の通りです。

・宿泊型自立訓練博愛通勤寮 (ビルクリーニング部門)

衛藤誠治さん **二連覇**

・バルクラブ (喫茶サービス部門) 永尾美季さん **優勝**

2名は、大分県の代表として、来年千葉県で行われるアビリンピック全国大会への参戦が予定されています。

ますます技を磨き、大舞台での更なる活躍に期待したいところです。



住吉浜 シーサイドチャレンジマラソン大会

11月18日(日)、第2回住吉浜シーサイドチャレンジマラソン大会が、穏やかな晴天の下、開催されました。本大会は、知的に障がいのある参加者が自分自身のペースで楽しく走つて完走することを目的としています。競技種目は1,000メートルと、2,000メートル、3,000メートルの3種目で、1,000メートルはタイム宣言レースです。県内11の施設から82名の参加があり選手は自分のペースで海の風を感じながら、楽しく走っていました。



第5回 NPO法人あいネットワーク大分 音楽会

— 障がいのあるひともない人も —

私たちの日々の楽しみのひとつに音楽があります。

私たちは、音楽には年齢、性別、国籍、あるいは障がいの有無を越えて心を通わせることができる力があると思っております。

このため、あいネットワーク大分では、障がいのある人たちも、ない人たちもできる限り上質の音楽を、一緒にそして自由に楽しむことにより、お互いの理解、交流を深めることを目的として毎年音楽会を開催しています。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。



テーマ とどけよう! ~虹の音色 はじける笑顔~
日時 2013年2月24日(日) 開場13:00 開演14:00
場所 iichiko総合文化センター グランシアタ
入場料 500円
出演 津久見檉の実少年少女合唱団
 コール・梅の香(盲学校OBを中心としたコーラスグループ)
 INOBE BAND(バンド演奏)
 オンたの(支援学校に通う中高生、卒業生による歌、器楽演奏)
問合せ先 NPO法人あいネットワーク大分 電話097-534-9600

福祉ホームは いま...

福祉ホームでは、日々の活動として、畑で季節に合わせた野菜を収穫しています。毎回皆で、次に何を植えるのかを話し合っています。収穫した野菜等を使い、豚汁・せんざい・焼き芋を作つて楽しんでいます。今回は、収穫した白菜を使い漬物を作り、販売し好評でした。

また、クリスマス会など季節を感じ取れるようなイベントを行い、メリハリのある生活を送れるようにアイデアを出し合っています。

いつまでも楽しく安心して生活ができる。終の棲家を目指しています。



博愛大学校どリーむ

就職先 4事業所(6名)

後藤 郁弥さん・衛藤 翔平さん・姫嶋 哲也さん

- 株式会社NBSロジナル
- 株式会社すかいらーく ガスト大分駅前店
- 内田 康介さん 九州レック株式会社
- 佐野 春美さん 株式会社 大分白屋

職場実習 3事業所(実習生6名)

ローソン 大分戸次小学校入口店、株式会社オグネット、つるさき食品(有)

みなさん就労に向け頑張っています。



博愛 ダツシユ村

何処よりも移りゆく季節が感じられ、ゆつくりと時間が過ぎていく...
 そんなダツシユ村にも厳寒の季節がやってきました。春から秋にかけて、訪れる皆様に期待と楽しみを与えてくれた村にまた一つ楽しみが増えています。ピザ工房の建設です。村で栽培した野菜で、自分なりのピザを作り、焼く、そして食す。想像しただけでもワクワクしてきます。年を重ねるごとに成長を続けるダツシユ村ですが、ピザ工房の完成を利用者の皆さん、今か今かと待っています。
 来春、村は一面ピンクの芝桜で覆われます。皆様のお越しをお待ちしています。



社会福祉法人 博愛会本部

〒870-0868 大分県大分市大字野田759番地1
TEL (097) 586-6121 FAX (097) 586-6115

指定障害者支援施設

第一博愛寮

〒870-0868 大分県大分市大字野田759番地1
TEL (097) 549-1321 FAX (097) 549-1092
※ホームヘルプステーション直通TEL(097)548-7257

指定障害者支援施設

第二博愛寮

〒879-7761 大分県大分市中戸次2131
TEL(097)597-0204 FAX(097)597-0205

指定障害者支援施設

福祉農場 コロニー久住

〒878-0202 大分県竹田市久住町大字有氏896-14
TEL(0974)77-2344 FAX(0974)77-2951

博愛地域総合支援センター

指定宿泊型自立訓練事業所

博愛通勤寮

〒870-0951 大分県大分市大字下郡1226-2
TEL&FAX(097)569-3109

障害者就業・生活支援センター

大分プラザ

〒879-7761 大分県大分市高砂町2番50号 オアシス21 3階
TEL(097)514-3300 FAX(097)514-3970

指定障害者

福祉サービス事業所(多機能型)

キッチン花亭

〒870-0868 大分県大分市大字野田841番地1
TEL(097)586-5775 FAX(097)586-5525

指定障害者

福祉サービス事業所(多機能型)

パルクラブ

〒878-0202 大分県竹田市久住町大字有氏896-22
TEL(0974)77-2941 FAX(0974)77-2946

指定障害者

福祉サービス事業所(多機能型)

住吉浜リゾートパーク

〒873-0033 大分県杵築市守江1165-2
TEL(0978)63-9117 FAX(0978)63-9127
<http://www.sumiyoshihama.com>

知的障害者福祉ホーム

菜の花庵

〒870-0868 大分県大分市大字野田840番地
TEL(097)549-6300

知的障害者福祉ホーム

春の風・庵

〒870-0868 大分県大分市大字野田813番地2
TEL(097)586-6157

編集後記

新体系への移行と相談支援事業の大幅な機能拡大、遅々として進まない復興と事故処理、更には混迷の度を深めるばかりの政情……今年も、大きな変化に翻弄され続けた一年でした。

先行きの不透明さに心が迷うこともあります。そんな時に利用者の皆さんの笑顔を見ると、勇気付けられます。そして、この笑顔を守ることが私達の不変の職務なのだと思えます。利用者の皆さんは、私達を支え導いてくれる道標でもあるのです。

来年も、今年以上の荒波が待っているでしょう。しかし、波高くとも心に天気晴朗を抱く気概で、職員一同力を合わせこの難局を乗り切っていきたいと考えています。どうかよいお年を。

INFORMATION お知らせ

いちご狩り

●開園期間 1月7日～5月(土・日・祝) ●時間 10時～16時

パルクラブ

食べ放題コース<入園料込み>	量り売りコース(入園料)	
大人(中学生以上)	1,200円	3歳以上 100円
小学生	1,000円	※100g/150円です。
幼児	500円	

住吉浜リゾートパーク

浜イチゴ園イチゴ狩り

	大人	小学生	幼児	3歳以下
1月・2月	1,300円	1,000円	800円	無料
3月・4月	1,200円	900円	700円	
5月	1,000円	700円	500円	
日替わりランチ	上記プラス500円			500円
ピープシチュールランチ	上記プラス700円			700円
持ち帰りのみ入園料	200円	100円	無料	

※お持ち帰りは100g/時価～150円

※幼児…4歳～小学生未満 ※持ち帰りのみは、試食4粒まで

パルクラブ

パルクラブの醤油麹トンカツ・新商品塩麹ハンバーグを販売する事になりました。どちらも味付けをしていますので、加熱してそのままお召し上がりください。

※お問い合わせはパルクラブ TEL(0974-77-2941)にお願い致します。



福祉農場コロニー久住 第42回 毎日社会福祉顕彰受賞

平成24年10月10日、毎日新聞東京本社で行われた贈呈式に釘宮卓司理事長が出席し、賞牌と賞金100万円を授与しました。

42回 毎日社会福祉顕彰贈呈



寄附・寄贈

博愛会後援会会長
村上恵一様より
応接セット他
(住吉浜リゾートパークへ)



川野香代子様より
100万円(第一博愛寮へ)

薬師寺弘様より
DVDセット(コロニー久住へ)



ありがとうございました。大切に使用させていただきます。